



▼ 8月27日

戦没者の冥福を祈って



戦没者合同慰霊祭は、文化センターで行われ、遺族や関係団体の代表者などが参列しました。

式辞では白石町長が「平和を継承し、安全で住みよい町づくりを進めたい」とあいさつ。参列者は献花し、犠牲者の冥福を祈りました。遺族代表あいさつでは八束兼福さんが「戦争の風化が懸念される今、戦争の悲惨さと平和の大切さを伝えていかなければならない」と話していました。

▼ 8月23日・24日

24時間チャリティーの輪



町体育協会主催の24時間チャリティースポーツカーニバルMASAKIは、松前公園で開催されました。

同イベントは、日本テレビの24時間テレビ「愛は地球を救う」に賛同して毎年行われています。当日は、レクバレーやソフトテニスなど計15種目が24時間をつなぐ形で行われ、参加者はスポーツと募金を通じてチャリティーの輪を広げました。集まった募金14万8,862円は24時間テレビへ寄附しました。

▼ 9月18日

稲を自分たちの手で収穫



川端哲さん＝徳丸＝の水田で、青葉幼稚園の園児が、収穫期を迎えた稲を刈り取りました。

この稲は、6月に園児たちが自分たちの手で植えたものです。毎年徳丸農業区の協力の下、田植えから刈り取りまでを行っています。

園児たちは慣れない鎌に苦戦しながらも、「とれたよ」と笑顔で話し、さわやかな秋晴れの空に向かって黄金色に輝く稲穂を掲げていました。

▼ 8月25日

幻想的な雰囲気の有明泉



大間地区の伝統行事「灯籠流し」は、盂蘭盆の夜に有明泉で行われました。

事前に配布されている灯籠に施主名を書き、夕方、有明橋のたもとに持ち寄ってきた大間地区の皆さん。

灯籠一つ一つに火が灯され、川面に浮かべられると、皆さんは、ゆっくりと流れる幻想的な光を見つめながら、先祖の霊を弔っていました。